

読者の お便りにお答えします。

医師会へのご質問は中綴じの「はぎき」をご利用ください。なお、個別の病気の質問には応じかねますので、ご了承ください。

Q インフルエンザワクチンについて教えてください。予防接種は2回したほうがよいのでしょうか？

A 現在用いられているインフルエンザワクチンは不活性ワクチンという種類で、増殖させたインフルエンザウィルスの病原性をなくすとともに副反応を起こしにくいように精製したものです。ワクチン接種後に長い間免疫を保つ麻疹ワクチンなどの生ワクチンとは異なり、不活性ワクチンでは効果は二時的になります。インフルエンザワクチンは個人差がありますが、その効果があらわれるまで通常約2週間かかり、約5ヶ月間その効果が持続するとされています。しかし、接種

を受ける人のインフルエンザに対する免疫の状態によつては、1回の接種では十分な効果が得られないことがあります。

このため、インフルエンザに対する免疫力の低い13歳未満の小児では2回接種する必要があります。2回目は、1回目から1〜4週間あけて接種しますが、可能であれば4週間近くあけた方がより効果が上がりますと考えられています。また、水痘や麻疹に感染した時は免疫力が落ちていることがありますので、1ヶ月程度あけてから予防接種を行ったほうが良いとされています。感冒程度であれば、それほど間隔をあける必要はありません。

石川 信泰(千葉市立青葉病院小児科)

「健康メモ」放送予定	
NHK千葉放送局のFMラジオ番組「ひるどき情報ちば」(11時~12時)内で放送(周波数:千葉80.7 / 銚子83.9 / 勝浦83.7 / 館山79.0)。放送テーマ、出演医師は変更になる場合があります。なお、第1火曜日は歯科領域がテーマとなります。	
12月14日(火)	サイレントキラー 高血圧症 塚本 恒行医師 (塚本医院院長)
12月21日(火)	インフルエンザの鑑別 石上 新平医師 (いしがみ小児科院長)
12月28日(火)	更年期について 吉岡 英征医師 (吉岡産婦人科医院院長)
平成17年	
1月11日(火)	アルコールとの上手な付き合い方 木村 直人医師 (磯ヶ谷病院副院長)
1月18日(火)	冬場の転倒、骨折予防 田那村 宏医師 (田那村整形外科院長)
1月25日(火)	高脂血症 井上 雄元医師 (井上内科医院院長)
2月予定	予防接種 BCGが変わる! 大野 京子医師 (内科小児科岩沢医院院長)
エコノミークラス症候群	未定

千葉県内医療施設 検索サイトのご紹介

医療施設検索サイトは、以下のQRコードからブックマーク登録ができます! ぜひ、ご利用ください。

<http://www.chiba-1.med.or.jp/medicaldb/i/>



佐藤 憲尚会長

また、行政との関係を密にして市民の皆様にも望まれる地域医療、地域連携を実践して行きたいと思っています。

<http://www.evnet.ne.jp/med.nagareyama/>

地区医師会へ ようこそ

15

流山市医師会



医師会事務局
流山市西初石4-1433-1
流山市保健センター2階
☎ 04(7155)2324